

## 読解力を身に着けるために、夏休みに力を入れてほしいこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。先週の「開倫塾の時間」では、夏休み前の家庭教育についてお話をさせていただきました。今日は、放送をお聞きの皆様や学生の皆様などをお願いしたいこととお話いたしますので、参考までにお聴きください。
2. 今は、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)、5G(第5世代移動通信システム)など、情報化社会が進んでいます。そのため、コンピュータを勉強するとか、コンピュータに慣れるとかも大事です。ただ、その手前ですべての情報を読み解く力も大事だと思います。

この読み解く力を、難しいことばで読解力といいます。読解力を身に着けるにはどうしたらよいかということ、小学生・中学生・高校生・大学生はもちろん、社会人になってもいつもいつも考えたほうがよいと思います。今はいろいろな情報機器による文字情報が目の前にたくさん現れ、それがまた消えていきます。ですから、それらの情報を読み解く力がないと、いくらAI・IoT・5Gなどによって高度な情報がスマホにいっぱい入ってきても話になりません。それどころか、振り回されてしまいます。
3. では、どうしたらよいのでしょうか。一番基礎的なこととお話すると、ことばの数が少ないと情報が読み解けません。そこで、専門的な分野の難しい事柄に進む前に、小学校・中学校・高校の教科書などに出てくる漢字を含めた本当に基本的なことばの意味を身に着けておくことが大切です。それが不十分であると、すさまじい量の情報が入ってきたときに読み解けないのです。ですから、意味のよくわからないことばがあったら、辞書で調べることが基本中の基本です。ぜひ行っていただくようお願いします。
4. 皆様もご存知のように、日本は漢字文化です。そのため、小学校でも中学校でも1000字ぐらいずつ新しい漢字を習います。漢字は、書く練習をしない限り、書けるようにはなりません。そこで、音と訓の読み方・書き順・意味などを押さえた上で、書き取り練習を十分に行っていただきたいと思います。

このような漢字の書き取り練習をするのは大変かもしれませんが、小学生は小学生なりに、中学生は中学生なりに、高校生は高校生なりにしていただければと思います。

5. 高校生で漢字は苦手だという方は、小学生で習う漢字からもう一回やり直すとよいでしょう。また、社会人の方でもちょっと漢字が大変だと思ったら、小学生のものからもう一回勉強していただきますと、社会人としての素晴らしい勉強になります。遠慮しないでやってください。
6. では、具体的にはどうすればよいのでしょうか。本屋さんに行くと漢字の本がたくさん売っていますし、漢字検定もあります。それらを利用してよいと思います。また、意味がわからなかったら辞書を引くのも大事です。
7. それから、AI・IoT・5G時代には様々な新しい情報がたくさん出てきますので、その情報を読む訓練をしたほうがよいと思います。それに一番役立つのは新聞です。何回も何回も申し上げて恐縮ですが、新聞は地域や日本、世界の出来事を知るのに一番よいツールです。もちろん、栃木放送で最新のニュースを聞いていただきたいですが、それを補うためにも新聞は本当に役立ちますので、ぜひ新聞を毎日、毎日読んでいただければと思います。新聞ほど、世の中のことを知る上で役に立つツールはないといってよいぐらいです。
8. 新聞をご家庭で取っていただく、1紙だけでなく、できれば2～3紙取っていただくことが大事です。家で取っていない場合は、図書館に行つていろいろな種類の新聞を読んでいただければと思います。つまり、家で新聞を取っていただき、取っていない新聞を図書館に行つて読んでいただくと、読む力がつきます。これはおススメです。
9. それから読書です。せつかくの夏休みですので、これぞという本を1冊でも2冊でもいいですから、一語一語噛み締めるようにしてゆっくりゆっくり読んでいくと、読み解く力がつきます。また、著者や作者との時空を超えた対話ができます。
- 例えば、奥の細道を読んで、松尾芭蕉と対話をするのは素晴らしいですね。また、「蜘蛛の糸」「杜子春」「トロッコ」などを読んで芥川龍之介と対話をする、「車輪の下」を読んでヘルマン・ヘッセと対話をする、論語を読んで孔子と対話をする、内村鑑三著の「代表的日本人」という素晴らしい本を読んで、内村先生と対話をしてどんな生き方をしたらよいのかを考えるのも素晴らしいです。このように本をゆっくりゆっくり読むと、著者や作者との対話がたくさんできますので、ぜひお願いします。家に本がある人は、既に読んだ本でもよいので、それを読みましょう。本が少ない人は、図書館に行つて読んでください。一度読んだ本を2回、3回、4回、5回、6回と繰り返し繰り返し読むと身になり、読解力がつきます。
10. AI・IoT・5Gなどによる情報に対応するために一番大事なのは、読解力です。読解力を身に着けるために、夏休みは辞書を引いたり、新聞を読んだり、本を読んだりしていただければ有難いと思います。